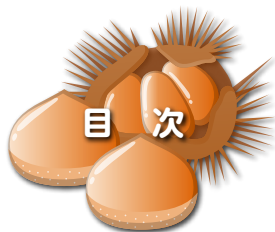


富山県・小矢部市総合防災訓練を実施

小矢部市で震度7を観測する地震が発生したとの想定で、多くの地区住民・関係機関等参加の中、防災訓練が行われました。災害発生時には、町内会や自治会などの小さな地域コミュニティ単位で助け合うことが重要です。地域で連携して災害へ備えることは、自分や身の回りの人を守ることに繋がります。



写真：(左上) 水防工法訓練 (右上) 応急救護訓練
(左下) パーティション組立訓練 (右下) 障がい者避難誘導訓練



補正予算の概要	2	閉会中委員会開催状況	11
議長・副議長あいさつ	2	議会事務事業評価	12～13
審議議案・議員別賛否状況	3	市外からの行政視察等	13
報告事項・人事案件等	4	委員会報告・次回議会日程等	14
審議経過	4	会務報告	15～16
議員構成	5	編集後記	16
代表・一般質問	6～10		

一般会計補正予算・条例改正など

16議案を議決しました

9月5日から23日までの19日間を会期として9月定例会を開会しました。

9月定例会では、市長から平成28年度小矢部市一般会計補正予算、専決処分事項の承認、人事案件など16議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意等しました。

なお、平成27年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び平成27年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査とすることになりました。

その他、健全化判断比率など報告2件を受けたほか、議員派遣を可決しました。

◎ 9月補正予算の概要

議案第39号 平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)
補正額 4億465.2万円 累計予算額 150億162.6万円

《主な事業》

- ・小矢部型稼げる農業創造事業費 5,000万円
- ・メルヘン等を活かした観光推進事業費 1,000万円
(上記 地方創生推進交付金を活用)
- ・地域総合整備資金貸付事業費 1億円
(ドライブイン宿泊施設・特別養護老人ホーム等の建設に対する貸付)
- ・地域子育て支援拠点事業費 412.1万円
- ・B型肝炎ワクチン定期接種委託費 198.4万円
- ・財政調整基金積立金 2億2,000万円

議案第40号 平成28年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 40万円 累計予算額 1億5,380万円

《主な内容》

決算の確定に伴う一般会計繰出金の増額

議案第41号 平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

補正額 1億5,815.9万円 累計予算額 37億2,549.3万円

《主な内容》

決算の確定に伴う後期高齢者支援金、前期高齢者納付金、介護納付金の増額、償還金と財政調整基金積立金の増額

議案第42号 平成28年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 106.3万円 累計予算額 8億1,976.3万円

《主な内容》

決算の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課予算情報ページをご覧ください。

議長 副議長
 就任 あいさつ



議長(第50代)

なかにし
 中西

まさき
 正史



副議長(第54代)

なかだ
 中田

まさき
 正樹

このたび、平成28年9月議会におきまして、議員の推挙により、小矢部市議会議長並びに副議長に就任させていただきました。

本市は、北陸新幹線やアウトレットモールの開業により、様々な面でプラスの効果が現れてきているところでありますが、人口減少と少子高齢化の進展、地域経済の縮小、公共施設の老朽化など、現下の情勢は、決して楽観できるものではありません。

議会と執行機関が車の両輪となり、これら諸問題に立ち向かい、市政発展と住民福祉の向上に向けて全力を尽くして取り組んで参る所存であります。

市民の皆様方には、これからもご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。正副議長就任のあいさつといたします。



9月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
補正予算	議案第39号	平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第40号	平成28年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第41号	平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第42号	平成28年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
その他	議案第43号	高岡市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第44号	射水市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第45号	氷見市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第46号	砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第47号	南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について ・高岡市、射水市、氷見市、砺波市、南砺市及び小矢部市の6市で構成される「とやま呉西圏域」での連携中枢都市圏形成に係る連携協約を各市と締結することに関して協議を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		議長は表決に加わりません	○	○	○
議案第48号	字の区域の変更及び廃止について ・石動駅南土地地区画整理事業の施行に伴い、字の区域の変更及び廃止を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
専決承認	承認第3号	小矢部市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について ・児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、小矢部市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例について所要の改正を行ったもの。	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
人事	同意第3号	小矢部市監査委員の選任同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
	同意第4号	小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
	諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
	諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について (人事案件の概要は4ページを参照ください)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	

9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第2号	健全化判断比率の報告
	報告第3号	資金不足比率の報告

9月定例会で継続審査とされた議案

その他	議案第49号	平成27年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、剰余金の処分を行うもの。
決算認定	認定第1号	平成27年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	平成27年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	平成27年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	平成27年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	平成27年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
	認定第7号	平成27年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第8号	平成27年度小矢部市水道事業会計決算

人事案件

◎小矢部市監査委員の選任同意

石田 義弘 氏（矢水町）

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

同意

石島 彌太郎 氏（興法寺）

◎人権擁護委員の候補者の推薦

佐伯 たか子 氏（石動町）

宗田 茂 氏（埴生）

奥川 孝子 氏（安養寺）

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

決算特別委員会

平成27年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案を審査するため設置しました。（委員11名）

9月定例会の審議経過

（会期19日間）

5日	本会議
7日	本会議（提案理由説明）
8日	全員協議会
9日	議案調査日
12日	議案調査日
13日	議会運営委員会
14日	本会議（代表・一般質問）
15日	民生文教常任委員会
16日	駅周辺整備特別委員会 産業建設常任委員会 人口対策等特別委員会 総務常任委員会
20日	決算特別委員会
21日	委員長会議
23日	議会運営委員会 全員協議会 本会議（質疑・討論・表決他）

議 会 議 員 構 成

議 長	なかにし まさし 中西 正史	副 議 長	なかだ まさき 中田 正樹
総務常任委員会委員	委員長 福島正力 委員 中田正樹	副委員長 中野留美子 石田義弘	嶋田幸恵
民生文教常任委員会委員	委員長 吉田康弘 委員 義浦英昭	副委員長 加藤幸雄 中西正史	砂田喜昭 宮西佐作
産業建設常任委員会	委員長 藤本雅明 委員 白井 中	副委員長 山室秀隆 沼田信良	尾山喜次
議会運営委員会	委員長 沼田信良 委員 義浦英昭	副委員長 福島正力 吉田康弘	藤本雅明 石田義弘
駅周辺整備特別委員会	委員長 尾山喜次 委員 中野留美子 砂田喜昭	副委員長 吉田康弘 義浦英昭	藤本雅明 福島正力 石田義弘
人口対策等特別委員会	委員長 沼田信良 委員 山室秀隆	副委員長 中田正樹 加藤幸雄	白井 中 嶋田幸恵 宮西佐作
決算特別委員会	委員長 宮西佐作 委員 中野留美子 福島正力	副委員長 藤本雅明 山室秀隆 嶋田幸恵	加藤幸雄 吉田康弘 白井 中 尾山喜次 砂田喜昭
議会だより編集委員会	委員 吉田康弘	藤本雅明	福島正力 中西正史

議 会 選 出 委 員 等

監 査 委 員	石田義弘		
小矢部川中流水害予防組合議会議員	白井 中	石田義弘	宮西佐作
砺波地方衛生施設組合議会議員	吉田康弘	福島正力	石田義弘
砺波地方介護保険組合議会議員	吉田康弘	中田正樹	嶋田幸恵 宮西佐作
砺波地域消防組合議会議員	義浦英昭	藤本雅明	石田義弘 中西正史
高岡地区広域圏事務組合議会議員	藤本雅明	福島正力	沼田信良
民生委員推薦会委員	義浦英昭	中田正樹	
国民健康保険運営協議会委員	白井 中	石田義弘	砂田喜昭
上水道審議会委員	加藤幸雄	福島正力	沼田信良
市勢総合計画審議会委員	吉田康弘	藤本雅明	福島正力 中田正樹 中西正史
公害対策審議会委員	中野留美子	山室秀隆	吉田康弘
都市計画審議会委員	山室秀隆	吉田康弘	福島正力 石田義弘 尾山喜次
交通安全対策協議会委員	中田正樹		
有線テレビジョン放送番組審議会委員	中西正史		
寿永荘運営委員会委員	吉田康弘	藤本雅明	福島正力
小矢部市土地開発公社理事	中野留美子	白井 中	砂田喜昭
公益財団法人クロスランドおやべ理事	山室秀隆	嶋田幸恵	宮西佐作

平成 28 年 9 月 23 日現在



沼田 信良
議員
会派「誠流」
ぬまだ のぶよし

◎旧中小企業大学校候補地の有効活用について

質問 平成6年に、中小企業大学校の誘致について、その候補地として、6.9haの山林を約1億円が準備し、市は毎年重点要望として国・県に要望し、我が会派としても昨年国会議員等を通じて国へ陳情を行った。しかしながら、今年の3月に、中小企業大学校は新たに建設しないと、国より正式に通知があったところである。結果的にこの山林を20年間放置してきたと思われても仕方がない状況である。この候補地跡地の有効活用には、しっかりと取り組んでいただきたい。

◎本社機能の市内への移転について

質問 本年7月に、株式会社ゴルドウインの本社機能の一部移転に関する新聞報道があった。市として千載一遇のチャンスであり、実現すれば、数百人規模の移住となるようであるが、その受け皿として住宅や買い物環境の整備を行う必要があると考える。市としてこの報道を受けてどのように対応し、取り組んでいくのか。

市長 富山県では、本社機能を移転した企業に対して事業税や不動産取得税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正し、本市においても、固定資産税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正した。また、本年3月には、新たに本社機能施設等

地の有効活用に必要なインフラ整備に対する総合的な支援について要望を行ったところである。この誘致の対象には、物流分野や農業分野等も含めた幅広い業種を対象としたいと考えており、県と協議し、国などへしっかりと要望をしたいと考えている。

質問 本年7月に、株式会社ゴルドウインの本社機能の一部移転に関する新聞報道があった。市として千載一遇のチャンスであり、実現すれば、数百人規模の移住となるようであるが、その受け皿として住宅や買い物環境の整備を行う必要があると考える。市としてこの報道を受けてどのように対応し、取り組んでいくのか。

市長 富山県では、本社機能を移転した企業に対して事業税や不動産取得税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正し、本市においても、固定資産税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正した。また、本年3月には、新たに本社機能施設等

移転助成金を創設し、市内への本社機能移転を促すため支援制度を整備したところである。新聞報道を受け、本市では県とともに株式会社ゴルドウインを訪問し、税制や助成金などの支援制度について説明を行い、市内への本社機能移転を強く働きかけてきたところである。また、本社機能移転に伴う定住人口の受け皿としての住むところ、買うところの整備については、宅地建物取引小矢部連絡会などとの連携を密にし、商業施設の誘致について民間事業者への働きかけに一層力を注いで取り組んでいきたい。

質問 とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について

市長 この連携事業においては、広域的に行うことでより大きな効果が見込まれるものや、集約することで効率化が図られるものを掲げている。本市としては、構成市との連携による事務量軽減をはじめ、広域防災、ごみ処理の相互連携によるコスト削減、将来的には電子カルテの共有化による医療費抑制などにもつなげたいと考えている。今後、例えばあいの風とやま鉄道の石動駅での折り返し運転について、機会を捉えて積極的にとやま呉西圏域連携推進協議会の中で提案したいと考えている。

展開し、この事業に取り組んでいただきたい。

市長 この連携事業においては、広域的に行うことでより大きな効果が見込まれるものや、集約することで効率化が図られるものを掲げている。本市としては、構成市との連携による事務量軽減をはじめ、広域防災、ごみ処理の相互連携によるコスト削減、将来的には電子カルテの共有化による医療費抑制などにもつなげたいと考えている。今後、例えばあいの風とやま鉄道の石動駅での折り返し運転について、機会を捉えて積極的にとやま呉西圏域連携推進協議会の中で提案したいと考えている。

市長 とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について、呉西6市が力を合わせて将来に向けて具体的に取り組みを行うものであり、圏域ネットワークの強化を図り、地域経済の活性化や交流人口の拡大、定住の促進、圏域の活力を将来的に維持・向上を図るものとして、本市として主体性を持った施策を

市長 とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について、呉西6市が力を合わせて将来に向けて具体的に取り組みを行うものであり、圏域ネットワークの強化を図り、地域経済の活性化や交流人口の拡大、定住の促進、圏域の活力を将来的に維持・向上を図るものとして、本市として主体性を持った施策を

市長 とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について、呉西6市が力を合わせて将来に向けて具体的に取り組みを行うものであり、圏域ネットワークの強化を図り、地域経済の活性化や交流人口の拡大、定住の促進、圏域の活力を将来的に維持・向上を図るものとして、本市として主体性を持った施策を

- ◎旧中小企業大学校候補地の有効活用について
- ◎本社機能の市内への移転について
- ◎とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について

市長 中小企業大学校の誘致については、平成5年に富山県が北陸の中心に位置する小矢部市を候補地として選定したことを受け、事業用地を取得し、県とともに要望を行ってきた経緯がある。開設中止を受け、本年6月に富山県へ候補地の有効活用に関する支援について要望を行い、企業や公的機関を誘致するための継続的な協力及び候補

市長 富山県では、本社機能を移転した企業に対して事業税や不動産取得税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正し、本市においても、固定資産税の軽減措置を実施できるよう、条例を改正した。また、本年3月には、新たに本社機能施設等

市長 とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成について、呉西6市が力を合わせて将来に向けて具体的に取り組みを行うものであり、圏域ネットワークの強化を図り、地域経済の活性化や交流人口の拡大、定住の促進、圏域の活力を将来的に維持・向上を図るものとして、本市として主体性を持った施策を



旧中小企業大学校候補地
(平桜・小森谷地内)

- ◎姉妹都市沼田町との経済交流の推進の提言について
- ◎企業版ふるさと納税の創設について
- ◎介護における（在宅サービス・施設サービス）について



白井 中 議員

質問 ふるさと納税の返礼品について、小矢部市と姉妹都市である沼田町が相互に協力し合い、小矢部市が沼田町の特産品を返礼品とし、逆に沼田町が小矢部市の特産品を返礼品とすることは出来ないか。

企画政策部長 特産品である米については、いなば農協がメルヘン米を主要商品として力を入れていることなどから、慎重な協議が必要だと考える。沼田町のトマトジュースや小矢部市のハト麦茶等の加工品をお互いに抱き合わせの返礼品とできないか、今後、慎重に検討したい。

質問 企業版ふるさと納税の制度創設の趣旨と制度の内容はどのようなものか。

副市長 地方公共団体が取り組む地方創生事業に企業が寄附をすれば、法人税等が軽減される制度である。企業が寄附を通じて地方創生に参加することで、地方創生を持続可能なものにし、また、企業側には、企業のイメージを向上させるメリ

ットもある。今後、寄附を呼び込めるような魅力的な事業の計画と寄附企業の開拓について、検討していきたい。

質問 現在、市内に4カ所ある小規模多機能居宅介護支援事業所について、事業計画に比べて利用実績が少なくないにも関わらず、今年度新たにもう1カ所開設する予定と聞いている。当局の考え方や指導方針について伺う。

民生部長 施設は完成したものの、人材が確保できないなど、事業計画どおりのサービスが供給できないなどの実態があると思う。整備された施設をフル活用してもらえよう、ケアマネジャー等と連携をとりながら利用促進を図りたい。



ふるさと納税返礼品のメルヘン米



嶋田 幸恵 議員

質問 地方創生の一番のポイントは、我が国及び地方の人口減少を食い止めることである。本市の目標人口である2万2千人を堅持するためにはどう取り組んでいくのか。

市長 おやベルネサンス総合戦略に掲げる施策・事業を着実に推進するとともに、PDC Aサイクルによる検証を行い、改善を図りながら定住人口の増加に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

質問 介護保険制度が改正され、介護予防事業の方法も変わったと思う。寿永荘を利用して行う事業もあると思うが、利用状況はどうか。また、不便はないか。

民生部長 通所型サービス事業として、寿永荘及びつざわランドで介護予防事業「ミニ・デイ」「いずみの園」が4月からスタートし、延べ利用人数は、月平均で約400人である。寿永荘については、平成27年度に浴室の段差解消、手すりの設置等安全面に配慮した整備を行

った。今後も利用者の利便性向上のために意見を聞いていきたい。

質問 火災警報器が設置されていない家での火災により、寝たきりの方が亡くなったと聞いている。火災警報器の設置率の現状を伺う。また、火災警報器の設置促進と周知徹底を願う。

総務部理事 本市の住宅用火災警報器の設置率は、6月1日現在83.3%である。高齢者の火災による死亡を防ぐには、火災警報器の設置が重要であり、消防職員及び消防団員と地域のケアマネジャーや民生委員等との連携を図り、火災警報器の重要性・必要性について周知し、火災警報器設置の促進に取り組んでいきたい。



高齢者の介護

- ◎タイムラインの策定について
- ◎上水道の未来像について
- ◎道の駅メルヘンおやべの利用促進について
- ◎能越自動車道の無料化社会実験について



山室 秀隆 議員

質問 早めの防災行動ができるタイムライン*について、全国市町村の約80%が対策済みであると聞いています。当市でも必要だと思いが当局の見解を伺う。

総務部長 本市においては、昨年度の地域防災計画の修正にあわせてタイムラインの案を作成しており、今年度はその内容を精査してタイムラインを地域防災計画に織り込んでいく予定である。

質問 市内の上水道未整備地域は市境に多く、他市ではあるがすぐ近くまで上水道が来ている状況が散見される。隣接市から水道を引くことは可能か、また、隣接市と上水道を接続し、相互災害協定を結ぶ考えはないか。

産業建設部長 様々な課題が予測され、本市の上水道未整備地域のあり方については今後研究したい。また、災害時における隣接市との水道水の相互応援を目的とした緊急連絡管の設置については、既に締結されている

※その他、次の質問がありました。
「能越自動車道の無料化社会実験について」



道の駅メルヘンおやべ

災害時相互応援協定を踏まえた上で関係市と協議を進めたい。

質問 網走市の農業視察の際に立ち寄った道の駅が、偶然にも「メルヘンの丘めまんべつ」であった。探してみるとこの他にも、岡山県に「メルヘンの里新庄」があった。メルヘンつながりで、姉妹都市ならぬ姉妹道の駅の協定を結び、交流してはどうか。

企画政策部長 メルヘンを活かした観光施策を展開しようとする中で、非常に興味深い提案である。姉妹協定による効果や今後の展開の可能性について、指定管理者の考えも聞きながら、様々な観点から検討していきたい。

- ◎小矢部市の防災について
- ◎健康増進について



藤本 雅明 議員

質問 本市では市民の防災意識向上のためにどのような事業をしているか。

市長 市内防災組織において、地域の防災リーダー育成を目的とした講演会などを開催したほか、津沢地区住民を対象とした災害図上訓練を行っている。また、災害に対する備えとして、防災ハンドブックを各家庭に配布したほか、防災をテーマとした市政出前講座を実施している。今後市民の防災意識の向上に向けた取り組みを実施したい。

質問 本市では、いろいろな防災訓練をしているが、地域・町内会単位での避難訓練等を充実すべきであると思う、当局の見解を伺う。

市長 自治会単位での避難が大切であるということは、十分認識をしております、自治会単位での出前講座や避難訓練を実施し、日頃から災害時の対応を確認していくことも非常に重要だと考えている。今後は自主防災会連絡協議会を通じて、自治会単位での防災訓練の重要

性・必要性を周知し、訓練の実施に向けて働きかけていきたい。

質問 健康づくりを目的として、本市では様々な事業をされているが、全国各地では歩いた歩数等に依拠してポイントが貯まり、抽選により景品に交換できるようなインセンティブの取り組みが実施されている。本市でも同様の取り組みができないか。

民生部長 県の取り組みである「元氣とやまかがやきウォーキング」を市民に積極的にPRするとともに、とやま呉西圏域都市圏ビジョン連携事業の中で、健康づくり事業への参加に対するインセンティブの仕組み作りについて検討したい。



8月に実施された総合防災訓練

*用語解説
「タイムライン」…… 取るべき行動を時系列で整理した災害行動計画。国、地方公共団体、企業、住民等が連携してタイムラインを策定することにより、災害時に連携した対応を行うことができる。

- ◎高齢者スポーツの現状とこれからの取組
- ◎観光振興と観光客の増客について
- ◎農業の自由化とその対策について



加藤 幸雄 議員

質問 高齢者スポーツのト
レンドはゲートボールから
パークゴルフへと移行して
いるようであるが、本市に
おけるパークゴルフ場の整
備状況はどうか。

産業建設部長

綾子河川公園
内に9ホールのパークゴル
フ場が整備されており、本
年4月1日から8月31日ま
での5カ月間では2,33
8人の利用があった。今後
も利用者数の増加が見込ま
れることから、適正な維持
管理に努めたい。

質問 平成30年に富山県で
開催されるねりんピック、
平成32年の東京オリピック
ク・パラリンピックでは、
富山県にも選手や観光客が
多く訪れることが予測され
る。その方々を小矢部市に
誘致する施策をどのように
考えているか。

企画政策部長

本市としても、
絶好の誘客の好機と捉え、
インバウンド対策を充実さ
せるとともに、出向宣伝や
SNSを利用した情報発信
に努め、積極的な誘客事業
を展開していきたい。



綾子河川公園内のパークゴルフ場

質問 「薬の富山」のイメ
ージを活かして、本市で薬
用作物の栽培に取り組んで
はどうかと思うが、当局の
見解を伺う。

産業建設部長

薬用作物は耕作
放棄地の活用や、中山間地
域の活性化につながる作物
として高い関心が寄せられ
ている。一方で、薬用作物
の栽培に取り組む農業者の
確保、栽培技術の確立、販
売先の確保といった課題が
ある。県単事業を活用した
市内耕作放棄地での薬用作
物の栽培の取り組みや、先
進地事例を参考にし、産地
化の取り組みについて検討
したい。

一般質問

- ◎買い物弱者等支援事業について
- ◎ドローンを活用した地域活性化対策について
- ◎東京オリンピックに向けた強化策について



石田 義弘 議員

質問 平成27年8月に実施
された買い物環境に関する
アンケート調査の結果を踏
まえ、当局はどのような対
策を講じているのか。また、
買い物支援事業補助金制度
への取り組み状況はどうか。

企画政策部長

調査対象者の三
分の一が買い物に不便を感
じており、この結果を踏ま
え、移動販売や宅配サービ
ス事業者に対して事業の初
期費用について助成する
「買い物支援事業補助金」
制度を創設した。現在、参
入検討事業者との意見交換
を行っている。この事業と
併せて、引き続きスパー
等の誘致に努めたい。

質問 全国各地で宅配、防
災、農業、観光PR等、あ
らゆる分野において、ドロ
ーンを活用した地域独自の
多種多様な取り組みがなさ
れているが、本市における
今後の取り組みについて当
局の見解を伺う。

また、とやま呉西圏域都
市圏ビジョン連携事業の中
で、ドローンを活用した取
り組みはできないものか。



小型のドローン（無人航空機）

企画政策部長 防災、農業、観
光PRのほか、廃棄物の不
法投棄の監視への活用も考
えられる。今後、ドロー
ンの活用方法について調査研
究を行っていききたい。

また、ドローンを活用し
た取り組みについて、機会
を捉えて提言していきたい。
質問 本市から、東京オリ
ピックに選手などを輩出
するためにどのような支援
体制を構築しているか。

市長

東京オリンピックに
向けた強化策として、東京
オリンピック世代となる中
学生及び高校生を対象に、
指導者の招へい、強豪チー
ムとの練習試合や遠征合宿
等への経費助成、国際大会
に出場する選手に対しての
負担金助成等を行っている。



砂田 喜昭 議員

- ◎ TPP 批准をやめるよう意見表明を
- ◎ 地方創生ととやま呉西圏域連携中枢都市圏について
- ◎ 安倍内閣による介護保険外しについて
- ◎ 子どもの貧困対策について
- ◎ 廃棄物の現状と再資源化・再利用について

質問 TPP協定に含まれるISD（投資家対国家の紛争解決）条項は、多国籍企業の利益のために国の主権が侵されるものであると認識している。市民の安全を守るためにも、市として批准反対あるいは、情報を国民に開示し、慎重な審議を求めるとの意見を表明することはできないか。

市長 国会の動向を注視していかなるを得ないところもあり、情報開示については、機会を捉えて強く申し入れたい。

質問 とやま呉西圏域連携中枢都市圏について、市の主体性が失われるようなことはないか。

企画政策部長 主体性が失われることのないよう、とやま呉西圏域連携推進協議会で協議したい。

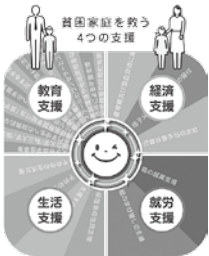
質問 現在、介護保険制度の見直しを検討され「要介護1、2」の方の生活支援サービスが縮小されようとしているが、市としても、このようなことを許さないとの意見表明を求めたい。

※その他、次の質問がありました。
「廃棄物の現状と再資源化・再利用について」

民生部長 要介護1、2の認定者には認知症の方も多く、生活援助等のサービスのニーズは大きいと思われる。要介護者の生活の質が落ちるのは良くないと考えており、要介護度で一律に判断することがないよう国へ要望したい。

質問 就学援助の実態はどうか。また、入学準備金を入学前に支払うように改善できないか。

教育委員会事務局長 平成28年度の就学援助対象者は、小学校で94名、中学校で64名である。当該年度の住民税の課税が確定する6月以降に認定事務を行い、入学準備金などの就学援助費を、それぞれ学期末に支給している。この認定にあたっては一般的に前年度の所得が用いられるため、入学前に支払うケースは稀であり、もう少し研究させて欲しい。



子どもの貧困問題

- ◎ 中小企業及び小規模事業振興基本条例の策定について
- ◎ 高齢化の顕著な地域における現状把握と対策
- ◎ 公共施設等総合管理計画の策定と実施予定を問う



吉田 康弘 議員

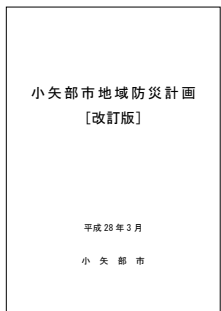
質問 現在（仮称）中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定に向けて準備を進めていると聞いている。この基本条例が、本市の産業経済の発展に大きく寄与すると期待しているが、この基本条例の意義と施行後の取り組みについて伺う。

企画政策部長 この基本条例は、行政が重要施策として地域における中小企業の振興に取り組んでいくことを明確化するために制定するものである。制定後は、国や関係機関と連携協力し、中小企業と小規模事業者の持続的発展と安定的で豊かな地域社会の構築に取り組む。

質問 高齢化が顕著な地域における対策として、現在は縦割り行政のもとで、福祉面と防災面、各々地区単位の計画を策定しているが高齢者を高齢者で支えている小規模なコミュニティにおいて、計画どおり機能するかどうかを点検しておく必要がある。当局の見解を問う。

副市長 現状では、地域での福祉及び防災などの担い手である、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、自主防犯会などは、地区自治会を基本的な単位として人材を育成し、確保する考えである。ご指摘のように、福祉、防災という縦割りではない、新たな体制を考慮した人材の育成を検討する必要があると考える。しっかりと現状把握をしていきたい。

市長 行政が保有する経営資源を効率的・効果的に運用し、市民の福祉増進を持続的に向上させていくことであり、昨今の少子高齢化の進展や社会経済環境の変化に合わせて行政も変化し対応する必要があると考える。



小矢部市地域防災計画

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

8月9日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成28年度小矢部市プレミアム商品券発行事業の事業計画について

28年度のプレミアム商品券の発行事業として、プレミアム率や商品券発行数及び発売日等について報告がありました。



プレミアム商品券

*所管事項について、委員から意見がありました。

・プレミアム商品券の発行時には、窓口を混雑させずに販売できる体制を整えてほしい。

・熱中症の予防対策について、広報では周知しているが、地域での取り組みも進める必要があるのではないか。

産業建設常任委員会

7月25日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・メルギューくん・メルモちゃんを有効に活用して、観光客を誘致するための新しい仕掛けを展開してほしい。



観光PRを行うメルモちゃん

民生文教常任委員会

7月14日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

なお当日は、保育所の統廃合に向けた、現場の取組状況等を調査するた

め、石動きり子ども園、津沢子ども園、数波保育所と学校給食センターに赴き、現地調査を実施しました。



現地調査を行った学校給食

8月2日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎「小矢部市あんしん地域医療あり方懇話会」について

小矢部市の今後の地域医療について、医療機関等と意見交換を行うための「小矢部市あんしん地域医療あり方懇話会」が開催されたこと及び今後のスケジュール等について報告がありました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・認知症の高齢者の行方不明者等に対して、警察、消防や地域包括支援センター等が連携した対策やシステムを早急に構築する必要がある。

駅周辺整備特別委員会

7月26日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎小矢部市社会教育施設整理統合計画検討会の設置及び今後のスケジュールについて

社会教育施設（総合会館、石動きコミュニティセンター、勤労青少年ホーム）の整理統合に向けた検討会を設置したこと及び今後のスケジュール等について報告がありました。

人口対策等特別委員会

7月25日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成27年度転入者及び転出者アンケートの結果について

結果について、20代、30代の転入・転出が多く、最も多かった理由は仕事であり、次に多かった理由が、結婚・離婚であったとの報告がありました。また、転出者への本市での住み心地についての質問では、「住みやすかった」、「比較的住みやすかった」との回答が80%を占めていました。

Check!

議会事務事業評価とは…

議会として市当局と異なる視点から事務事業を評価し、今後の方向性を明らかにしようとするのが議会事務事業評価です。個別の事務事業の現状や課題等を共有することができるので、予算や決算を審議等する上でも役立っています。

平成27年度議会事務事業評価報告

8月22日の全員協議会において、市議会より市当局へ議会事務事業評価の報告書を提出しました。

今後、事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう市当局に求めました。

総務常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成27年度 決算額	委員会評価
情報管理費	総務課	127,840	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報漏えいを防止するためには、市の情報セキュリティポリシーを更新する際に、日々の情報管理を一層強化するとともに、全国の情報漏えい事例等を参考に注意喚起を促し、職員の意識向上につなげること。 庁舎3階のWi-Fi（ワイファイ）環境については、費用対効果を含めて検討していくこと。 ホームページ作成システムの再構築が行われたが、今後は、内容をより魅力あるものにするるとともに、提供する情報の充実に努めること。
地域情報化事業費	総務課	29,710	
企画事務費	企画政策課	65,378	<ul style="list-style-type: none"> ひとつひとつの事業についても目標を設定し、実行した事業は効果を具体的に検証し、結果を判断した上で次の段階に進めていくとともに、効果があった事例については、広く市民へ情報を提供すること。
庁舎維持管理費	財政課	45,332	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎整備基金積立金については、改修でも建替えでも資金が必要になるため、一定の額を積み立てていく方向で検討すること。 節電対策について、無駄を省くことは必要であるが、「職員に快適な職場環境を提供する」という当事業の目的を踏まえて、適正な環境の維持に努めること。
消防団運営費	総務課	27,959	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動を継続して進めていくため、若い人が進んで入団できるように、より良い環境整備に努めること。 分団の在り方については、「機能別消防団員」、「消防団OBの活用策」、「私設消防団との連携」等についても検討していくこと。

産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成27年度 決算額	委員会評価
中山間地域等直接支払事業費	農林課	39,304	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化等により、中山間地域での農業の担い手が不足し、事業への取り組みを継続することが困難な状況にあるため、対象集落との連絡を密にし、事業への取り組みを継続出来るようサポートを行いながら、引き続き、積極的な事業実施に努めること。
県単独森林整備事業費	農林課	10,475	<ul style="list-style-type: none"> 木材需要の低迷や、森林所有者の高齢化・不在化等により森林の維持管理が難しくなっているため、当局としても状況をしっかりと把握するとともに、引き続き、関係機関と協調しながら事業を推進すること。
観光推進費	観光振興課	47,935	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線とアウトレットが開業し1年が経過したが、商店街や市内観光地への誘客に十分な効果を発揮しているとは言えない。誘客効果を最大限に発揮するために、商店街や観光地において、積極的に誘客に取り組むことができる人材を育成するなど、受け入れ側の体制の整備に努めること。
畜産振興費（繰越事業分）	農林課	163,937	<ul style="list-style-type: none"> 発酵鶏糞の利用を促進して循環型農業の推進を図ること。
公共下水道施設整備費（繰越事業分）	上下水道課	73,385	<ul style="list-style-type: none"> 住民の生活に支障がないよう、長寿命化計画に基づいて着実に更新工事を進めること。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成27年度 決算額	委員会評価
おやべ温泉維持管理事業費	社会福祉課	6,581	・利用者が減少している原因・問題点を精査し、利用者のニーズを的確にとらえ、今後も利用者に親しみを持ってもらえる施設運営に努めること。
シルバー人材センター運営助成費	健康福祉課	8,750	・引き続き、会員の確保の充実を図るとともに、適正な事業実施に努めること。
地域包括支援センター運営事業費	健康福祉課	28,391	・本事業では、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供できるシステムの構築が求められている。また、これからは「公助」「共助」だけでなく、「自助」を基本としつつ、多様な主体と自治体が協働しながら地域全体を支え合う互助の体制をつくっていくことが非常に重要である。そのために、これらの業務を遂行するための専任職員を配置すること。また、ネットワーク化を図ることが必要であるため、地域の課題に対応できる、地域の特性をいかす地域の人材育成に力を入れるとともに、実践的なシステムづくりや基盤整備を推進すること。
市営バス事業費	生活協働課	54,565	・利用者が1万人増加したことは評価ができる。今後も更なる利便性（鉄道の乗継ぎ等）の向上に努めること。
おやべ型1%まちづくり事業費	生活協働課	11,415	・安易に再募集を行うのではなく、例えば、前期・後期に分けて募集を行うなど、計画的に事業を遂行すること。
給食センター管理運営費	教育総務課	85,447	・施設及び調理器具等の老朽化については、早急に対策を検討すること。

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成28年6月25日～9月4日)

年月日	視察来市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
28. 7. 15	福井県大野市議会 (会派)	2	—	・おやべ型1%まちづくり事業について
8. 4	兵庫県三木市議会 (民生生活常任委員会)	7	1	・アウトレットモールの誘致について
8. 9	岡山県倉敷市議会 (会派)	9	—	・ドッグランの管理・運営について



QRコード



小矢部市議会 会議録の検索と閲覧のページ
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/oyabe/oyabe.html>

定例会や臨時会の本会議の会議録を小矢部市議会のホームページ上で公開しています。平成10年12月定例会以降のものから最新の会議録まで、全内容について閲覧することができ、発言者やキーワードなどから絞り込みをかけて検索を行うことも可能です。

会議録の検索と閲覧

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について、高岡市、射水市、氷見市、砺波市、南砺市との取組内容は、今回の締結内容だけに留まることなく、新たな連携事業が発生した場合には、速やかに提案協議していくこと。

また、公共交通の利便性向上をすすめる上でも、あいの風とやま鉄道の石動駅での折り返し運転等の提案については、連携事業とするように強く要望するとともに、より良い取組みへ繋げること。

二点目は、防災について、全国各地では、集中豪雨や台風による土砂崩れや床上浸水等に加え、避難体制の遅れ等から家屋の損壊だけではなく、人的被害も発生している。災害が発生するおそれがあるときは、ケーブルテレビやメール等を通じて、避難情報を速やかに市民に周知するとともに、緊急時の警戒配備体制の確実な運用に努めること。

産業建設常任委員会

一点目は、小矢部型稼げる農業創造事業について、小矢部産米の品質やブランド力向上に努めることで、米をより高く販売し、農業者の所得を増やすことがこの事業の狙いであると聞いている。農業者の所得を安定的に増やし、若者にも魅力ある農業とするために、しっかりと事業に取り組むこと。また今後、生産コストの低減を図る仕組み作りについても、十分に検討を行うこと。

二点目は、観光推進施策について、小矢部市の既存の観光パンフレットは気軽に手に取るには大きすぎるサイズのものが多い。コンパクトでポケットに入れやすく、多くの市町村の観光パンフレットにも採用されている「A4の三分の一サイズ」にするなど、サイズ・デザインの見直しを行うことにより、パンフレットをより多くの人に手に取ってもらうよう工夫をして、小矢部の魅力を広く周知するよう努めること。

民生文教常任委員会

一点目は、インフルエンザの予防接種についてであります。現在、市では六十五歳以上のみを対象にインフルエンザの予防接種費用の一部を助成しているところであるが、子どものインフルエンザの発症及び重症化を予防することにより、医療費の抑制を図ると

もに、子育て世代の経済的負担を軽減するためにも、子どものインフルエンザ予防接種費用の助成制度の創設について早期に検討を行うこと。

二点目は、保育所の統廃合について、地元地区等への説明会においては、特に反対意見がないとのことであるが、入所予定の保護者の意見も聞くなど、より多くの地域や保護者の声をしっかりと受け止め、慎重に進めること。

三点目は、小矢部市老人福祉センター寿永荘について、本年八月四日付で小矢部市社会福祉施設等あり方審議会へ「小矢部市老人福祉センターのあり方について」の諮問がなされたところであるが、実際に施設を利用している方々の意見も聞いて、事業を推進すること。

平成28年度 議長交際費支出状況

平成28年4月～平成28年9月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	23	237,640
① 御祝・寸志	9	76,600
② 激励金	5	86,000
③ 香典・供物	9	75,040
2 協賛費	10	45,102
3 会費・懇談会費	16	115,487
4 その他	5	37,344
合計	54	435,573
平成28年度予算額		1,400,000
執行率		31.11%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

12月定例会の日程(予定)

- 6日(火) 10時 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 7日(水) 議案調査日
- 8日(木) 議案調査日
- 9日(金) 議案調査日
- 12日(月) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議(代表・一般質問)
- 13日(火) 10時 本会議(一般質問)
- 14日(水) 10時 民生文教常任委員会 14時 産業建設常任委員会
- 15日(木) 10時 総務常任委員会
- 16日(金) 10時 駅周辺整備特別委員会 14時 人口対策等特別委員会
- 19日(月) 議案調査日
- 20日(火) 10時 議会運営委員会 13時 全員協議会 15時 本会議(質疑・討論・表決)

※オレンジ色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
 (当日午後7時とその週の午後6時から再放送予定)
 録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

会務報告

平成28年6月25日～平成28年9月4日まで

年月日	件名	摘要	開催地
28. 6.27	平成29年度重点事業要望	・富山県出先機関 ・富山県庁	小矢部市・高岡市 富山市
6.28	小矢部川中流水害予防組合議会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	特別会議室
6.29	平成29年度重点事業要望	・富山河川国道事務所 ・あいの風とやま鉄道(株)	富山市 富山市
7. 4	一般国道8号整備促進期成同盟会総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
	主要地方道小矢部伏木港線改修期成同盟会総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
	庄川左岸地区用排水対策促進協議会総会	・議事 平成27年度事業報告、収支決算、平成28年度事業計画(案)、収支予算(案)について	砺波市
7. 6	平成29年度重点事業要望	・北陸農政局	金沢市
7. 8	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
7.14	民生文教常任委員会	・施設調査 石動きらりこども園他3施設	市内
7.19	日韓友好議員連盟総会	・議事 平成27年度事業実績報告、収支決算、平成28年度事業計画(案)、収支予算(案)、役員改選について ・記念講演	富山市
7.21	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・小矢部市イメージソングの制作について他4件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第182号発行について	第二委員会室
7.25	産業建設常任委員会	・報告事項なし	第二委員会室
	産業建設常任委員会議会事務事業評価	・観光推進費他4事業について	第二委員会室
	人口対策等特別委員会	・平成27年度転入者及び転出者アンケートの結果について報告	第二委員会室
7.26	利賀ダム建設促進期成同盟会通常総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、役員改選について ・現地視察	砺波市
	駅周辺整備特別委員会	・小矢部市社会教育施設整理統合計画検討委員会の設置及び今後のスケジュールについて報告	第二委員会室
7.28 ～29	平成29年度重点事業要望	・北陸地方整備局 ・国道交通省、内閣府、内閣官房、文部科学省、農林水産省、総務省、NHK及び県選出国会議員等	新潟市 東京都
8. 1	東海北陸自動車道建設促進同盟会・東海環状道路建設促進期成同盟会平成28年度合同定期総会	・書面表決結果報告 ・役員改選 ・決議文朗読	東京都
8. 2	民生文教常任委員会	・「小矢部市あんしん地域医療のあり方懇話会」について報告	第二委員会室
	民生文教常任委員会議会事務事業評価	・おやべ温泉維持管理事業費他5事業について	第二委員会室
	国道471号整備促進期成同盟会総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	津沢コミュニティプラザ
	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	津沢コミュニティプラザ
8. 3	国道359号改修促進期成同盟会通常総会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	砺波市

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
8. 4	庄川・小矢部川改修促進期成同盟会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
	岸渡川改修促進期成同盟会	・議事 平成27年度事業報告、歳入歳出決算、平成28年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
8. 9	総務常任委員会	・平成28年度小矢部市プレミアム商品券発行事業の事業計画について説明	第二委員会室
	総務常任委員会議会事務事業評価	・情報管理費他4事業について	第二委員会室
	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・議事 平成28年度砺波地方衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)他1議案、及び平成27年度砺波地方衛生施設組合一般会計歳入歳出決算認定について	高岡市
8.10	日中友好富山県地方議員連盟総会	・議事 平成27年度事業実績報告、収支決算、役員改選、平成28年度事業計画(案)、収支予算(案)について ・講演	富山市
8.22	全員協議会	・議会事務事業評価報告 ・行政委員会等の会務報告 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョン(案)の報告について他2件報告	第一委員会室
8.24	砺波地方介護保険組合議会定例会	・議事 平成28年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)他1議案、及び平成27年度砺波地方介護保険組合一般会計歳入歳出決算認定他認定3件等について	砺波市
	砺波地域消防組合議会定例会	・議事 平成28年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第1号)及び平成27年度砺波地域消防組合一般会計歳入歳出決算認定について	砺波市
	富山県市議会議長会臨時総会	・議事 平成27年度歳入歳出決算、北信越市議会議長会評議員会提出議案について ・小矢部市提出議案 一般国道8号の整備促進並びに能越自動車道の国による一元管理について	黒部市
	県知事との懇談会	・県への要望事項説明及び要望に対する説明 ・小矢部市要望事項 一般国道8号の整備促進並びに能越自動車道の国による一元管理について ・県政概要	黒部市
8.25	富山県西部市議会議長会研修会	・「とやま呉西圏域」連携中枢都市圏の形成について	高岡市
8.29	議会運営委員会	・9月定例会について	第二委員会室

編集後記

10月3日に、高岡市、射水市、氷見市、砺波市、南砺市及び小矢部市の6市で構成される「とやま呉西圏域」の連携協約が締結されました。

このことにより今後6市が、人材育成や定住・移住、産業の振興、公共交通活性化など多岐にわたる事業について連携して取り組むことになりました。

市議会としても、この取り組みが人口の減少に歯止めをかけ、地域の活性化の一翼を担うことを期待しているところであり、この度の9月議会でもこの取り組みをより効果的なものにするために市当局と議論を重ねてきたところです。今後とも、市当局との議論を通じて、活力のある地方の創生に向けて取り組んで参りますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

次回の「議会だより」は、平成29年2月の予定です。

(議会だより編集委員一同)